

実習助手の実習教諭免許(単位)取得に関する調査 (H29)

1. 調査目的

免許取得希望者がどれだけいるのか、そして希望者が十分に単位取得の機会があるのかを把握し、十分でなければ本協会として関係各機関に働きかけをしていく資料として実施することにした。

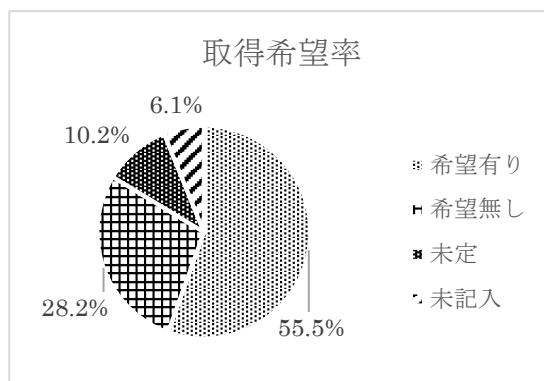
2. 調査結果

調査の結果、281校 67.1%の学校、851名から回答があった。

取得を希望している人数は472名で55.5%、希望していない人数は240名で28.2%となり、このうち取得済みの人数45.4%含まれていた。

(図1)

図1



取得の希望状況を年代別に見ると、20代~40代で希望者が多いことがわかる。(図2)

また、取得状況を年代別にみると、20代~40代で取得中あるいは未取得の割合が高い事がわかる。(図3)

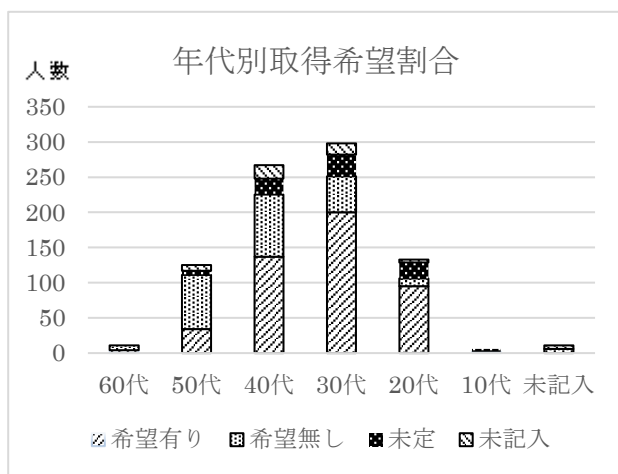


図2

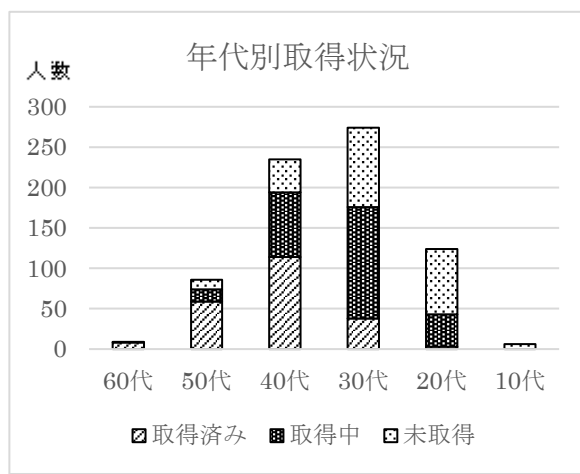


図3

「教科に関する科目(農業科関係科目)」の取得の状況は、40代以降で4単位の取得率は高いものの、20代~30代では未取得や1単位・2単位取得の割合が非常に高い。(図4)

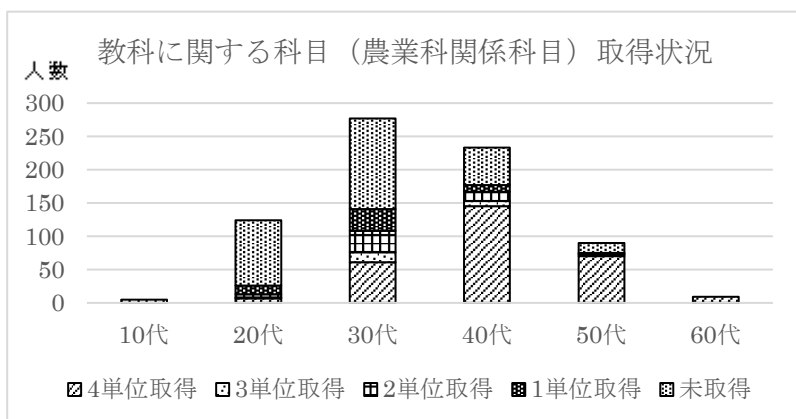


図4

「教職の意義等に関する科目」の取得状況では、取得中にも関わらず 20%が未取得の状況であり、取得できる環境の整備が必要である。(図 5)

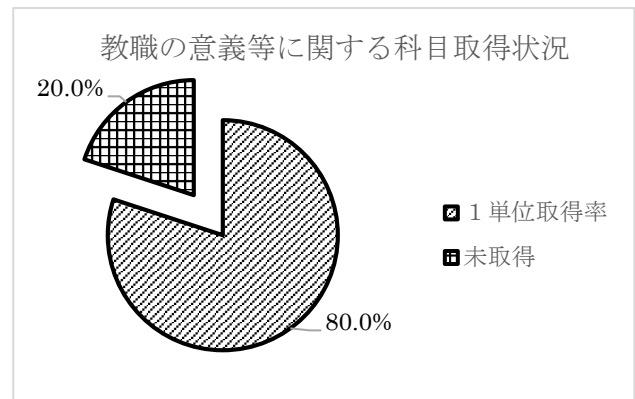


図 5

「教育の基礎理念に関する科目」(第 3 欄)の取得状況では、1 単位しか取得できていない割合は少数ではあるが 30 代・40 代が多く、未取得者は 20 代～40 代で特に 30 代が最も多い結果となった。これらを合わせると、必要単位数を取得している人数よりも多い結果であった。(図 6)

「教育課程及び指導に関する科目」(第 4 欄)並びに「生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目」においても同様で、必要単位数取得者よりも 1 単位取得者や未取得者を合わせた人数が上回っており、20 代～40 代の割合が高い結果となった。

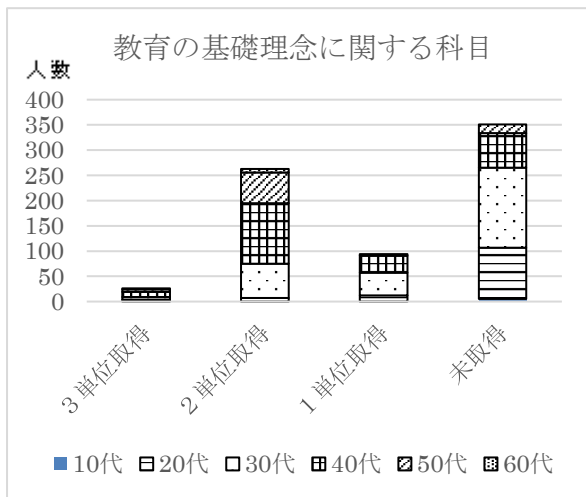


図 6

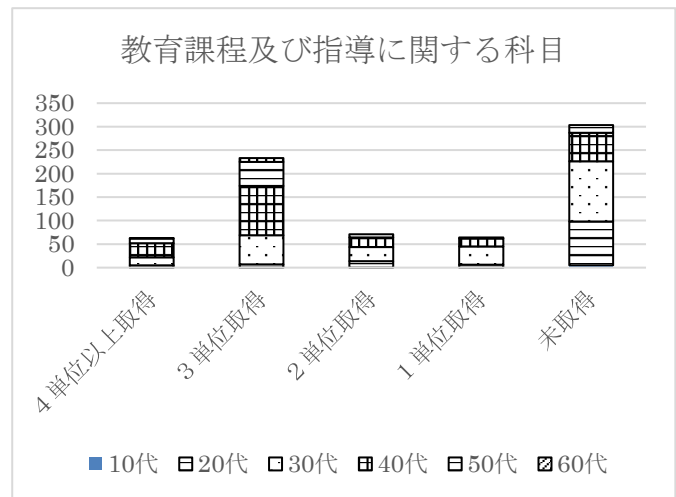


図 7

3. まとめ

依然として実習助手の方々の多くが免許取得を希望しており、特に 30 代・40 代の方々の希望が多かった。免許取得のための講座は限定された地域でしか開催されておらず、取得したくても厳しい状況にあると思われる。今回の結果を踏まえ、今後も関係各機関に働きかけを行っていききたい。